

## 今年度の取組

### 1 医療機関の整備

#### (1) 外国人患者受入れ体制の充実に係る 第三者認証取得補助(平成28年度～)

継

日本医療教育財団が実施する外国人患者受入れ医療機関認証制度・JMIPを受審する病院に対し、受審に係る評価料等を補助

#### (2) 外国人患者受入れ体制整備補助(平成29年度～)

継

パンフレットや問診票、ホームページの翻訳及び作成に係る費用や院内資料、案内表示の多言語化等に係る費用への補助

#### (3) 医療機関向け救急通訳サービス(平成4年度～)

拡

救急で来院した外国人患者が日本語が不自由なために診療等に支障来す場合に、登録医療機関向けに電話による通訳サービスを提供

<対応言語・時間>

英語・中国語

平日 17時～翌朝9時

土日・祝日 9時～翌朝9時

韓国語・タイ語・スペイン語・フランス語

平日 17時～20時

土日・祝日 9時～20時

※平成30年度より、組織委員会の公用語であるフランス語を追加

#### (4) 外国人患者対応支援研修(平成28年度～)

継

場面ごとにおける外国人対応時の注意事項や、制度等の説明方法、医療費の支払方法や未収金防止対策等について学ぶ。

#### (5) 都立病院のJMIP取得

継

平成31年度までに、全都立病院のJMIP取得を目指す。

### 2 医療情報の提供

#### (1) 外国人患者向け医療情報サービス(平成5年度～)

継

外国語で診療できる都内医療機関や日本の医療制度等を、相談員が案内(英・中・韓・タイ・スペインの5か国語に対応)

#### (2) 医療機関案内サービス「ひまわり」Webサイトによる情報提供

継

言語別(16か国語)・対応レベル別に、外国語対応可能な都内医療機関情報を、英・中・韓3か国語で提供(自動翻訳機能)

#### (3) 薬局機能情報提供システム「t-薬局いんふお」Webサイトによる情報提供

言語別(25か国語)・対応レベル別に、外国語対応可能な都内薬局情報を、英・中・韓3か国語で提供(自動翻訳機能)

#### (4) 医療機関受診のための多言語ガイドブック

継

『あなたのその症状、感染症かもしれません!』(平成29年度～)

東京を訪れる外国人の方が必要な時に医療機関を受診できるようサポートする多言語対応のガイドブックを作成

### 3 地域における受入環境整備

#### (1) 外国人患者への医療等に関する協議会

新

医療機関や関係団体、観光・宿泊施設等による会議体を設置し、連携強化を図り、外国人への医療提供に係る取組を促進

【連携促進のための具体的支援】

- ・医療機関リストの作成(「ひまわり」を活用して都が作成)
- ・宿泊施設等向け外国人患者対応マニュアルの作成

#### (2) 地域の実情に応じた外国人患者受入環境整備事業

新

医療機関と関係機関の連携により、外国人患者が症状に応じて安心して受診できるよう地域の実情に応じた受入環境を整備(平成30年度は新宿・渋谷で実施)

#### <東京消防庁における取組> ※詳細は資料3-3を参照

- 英語での対応が可能な救急隊の整備
- 119番通報の多言語対応(対応言語:英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語)
- 救急現場におけるコミュニケーションツールの活用
- 東京版救急受診ガイド(英語・ウェブ版)の提供

#### <産業労働局における取組>

- 宿泊施設向け多言語コールセンター
- 宿泊施設の従業員が、外国人旅行者との接客時において外国語による意思疎通が困難な場合に、コールセンターのオペレーターが通訳を行う。
- 対象:東京都内の宿泊施設 言語:英語、中国語、韓国語 対応時間:24時間